

人材不足を外国人労働者の受け入れで？ 介護は5年間で5～6万人

11月14日、政府は外国人労働者の受け入れを拡大する入管難民法の「改正」案に関して、2019年度に最大4万7550人、5年間で最大34万5150人を受け入れる試算を発表した。このうち、介護は初年度5000人と見込み、23

年度までの累計で14業種中最も多い5～6万人とした。外国人技能実習生の実態把握も不十分ななか、人手不足を安い労働力で補いたい政府・与党はこの臨時国会中での可決・成立をねらう。許さないぞ！

学んで語った交流集会

11月17日・18日、福祉保育労では高齢者介護にかかわる全国交流集会を東京都内で、障害福祉にかかわる全国交流集会を名古屋市内で、それぞれ開催しました。学びあい、語りあった2つの集会の特徴を報告します。

第24回障害福祉職場で働く職員の全国交流集会 第16回全国重症心身障害児者療育研究集会IN東海

積み重ねた取材をもとに講演する
山陽新聞記者・久万真毅さん



記念講演に
聴き入る参加者

**5つの分科会で交流
基礎講座も**
8年ぶりの東海（愛知）での開催で、のべ102人が参加しました。1日目は「働き続けられる職場づくり」「障害のある子どもたちの居場所づくり」などの5つの分科会で、レポート報告を受け、厳しい職場状況を出しながら議論をしました。基礎講座では、2

018年報酬改定の問題点を学び、今後の運動につながる職場実態の交流をしました。夕食交流会では、名古屋飯に舌鼓を打ちながら、名古屋弁伝言ゲームで盛り上がりました。**新聞記者から見た「障害者が働く」とは？**
2日目の記念講演で

「賃金改善要求はまっとうだ」
エールをもらって元気に

は、山陽新聞の久万真毅記者に「障害者が働くを考えると就労継続支援A型事業所の閉鎖問題から考える」と題して講演していただきました。できあがった商品をパフラし、もう一度初めから作業をさせるなど、就労支援と言えない実態にあったこと、報酬や助成金から経費を差し引いた分を利益とした結果が閉鎖につながったのではと強調されました。経済部の記者としての長年の取材経験を踏まえて、「障害者が働くこと

には人が働きやすくなるヒントが隠されている。得た賃金で経済を活性化することもできる」と話されました。最後に、「福祉が充実することは経済が活性化することになるので、賃金の改善などの要求はまっとうなことだ」とエールをいただきました。感想アンケートには「職員が知識や食生活、健康を見つめ直さない」と、利用者の食と健康に対していい支援ができない」という声もありました。

国の省庁が42年間も障害者の雇用率を偽装していたことが問題になった。第三者による検証の場として設置された委員会は、「極めて由々しき事態」としながら「意図性は認定できない」とする報告書を発表した。民間企業は、雇用するまで雇入れの計画を求められ、雇用できていない場合は納付金を納めている。障害者であるかも、手帳で厳密に確認している。不正があれば、法律違反として公表される。しかし、国は今回の問題について「道義的な責任はあるが、処分に値する違法行為はなかった」とし、何ら処分をしなかった。公務員として働きたいと願う障害者の雇用の機会を奪ってにおいて、障害者は納得するのだろうか。障害者に応じた配慮やできる仕事を選別する必要はあるが、優遇してほしいわけでもない。この問題から、どうすれば働きやすくなるのかを考えてもらいたい。その働きやすさをすべての労働者に適用すれば、日本の労働は変わる。（谷本）



参加したみんなで集合写真！

第25回高齢者福祉の職場に働く仲間の 全国交流集会in東京

**4つの分科会で
交流を深めあつて**

参加者は10地方組織65人でした。1日目は基調報告の後、4つの分科会に分かれ、学習・交流しました。

「労働組合活動交流会」では、三六協定の労働者代表選挙で、組合員数の2.5倍を得票した関東地方のある介護事業所分会と定期昇給にこだわった京都地本・こぶしの里分会の提案を通じて、組合活動の大切さを確認しました。

「働き方を見直そう」

では、前澤檀さん（東京地評）から「労働法を見直しの出発点に」「職場・地域で組合の存在感を示すことが重要」などの助言のもと、職場実態や悩みを出しあいました。「介護職場のチームケア」は、山形地本・思恩会分会と兵庫地本・駒どり分会からの提案を受け、介護以外の職種との連携、話しやすい職場づくりのほか、労働条件の改善の課題も共通認識になりました。



介護職場にゆとりと誇りを

よんがタイム



これにサインしてから入国ね
高宮信一・作

福祉の風

国の省庁が42年間も障害者の雇用率を偽装していたことが問題になった。第三者による検証の場として設置された委員会は、「極めて由々しき事態」としながら「意図性は認定できない」とする報告書を発表した。

民間企業は、雇用するまで雇入れの計画を求められ、雇用できていない場合は納付金を納めている。障害者であるかも、手帳で厳密に確認している。不正があれば、法律違反として公表される。しかし、国は今回の問題について「道義的な責任はあるが、処分に値する違法行為はなかった」とし、何ら処分をしなかった。公務員として働きたいと願う障害者の雇用の機会を奪ってにおいて、障害者は納得するのだろうか。障害者に応じた配慮やできる仕事を選別する必要はあるが、優遇してほしいわけでもない。この問題から、どうすれば働きやすくなるのかを考えてもらいたい。その働きやすさをすべての労働者に適用すれば、日本の労働は変わる。（谷本）

職員も安全・安心の福祉職場に 利用者も安全・安心の福祉職場に だから大幅増員と賃金アップを

署名を広げて
組合を知らせる
3職場訪問へ

北海道地本

北海道地本では、秋年末闘争方針で署名を組合員一人20筆、福祉保育労を知らせるために分工会での職場訪問(1つ1つの目標を持つ)と、このことを決定。署名スタート行動と位置付け、「憲法25条を守り、活かそう!10・25中央行動」にあわせ、札幌旭川の2か所で街頭署名をねなしました。小雨が降るなかで店頭の照明の力を借りながら、近隣や研修などでつながりある事業所などに福祉保育労を知らせていきます。



旭川で寒さに負けずにアピール

毎月署名行動
暑さに負けずに
改善を求めて

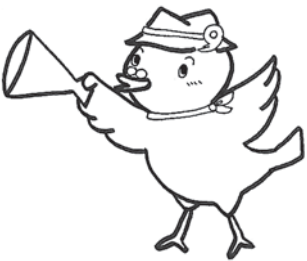
神奈川県本部



お子さんを抱えて署名に応じてくれる姿も

対話すすめて署名宣伝展開中

広がる共感



福祉保育労では、10月から国会苑の「福祉職員の大幅な増員と賃金の引き上げを求める請願署名」を推進しています。介護や保育など福祉労働者の処遇改善にむけた政府の対策は不十分です。福祉職場に対する社会的な関心が高まるなか、私たち当事者が声をあげ、理解と共感を広げていく時です。第一次は年内、最終の2月末日の集約にむけて、1人20筆以上をやりきりましょう。6つの地方からの報告です。

一人ひとりが
身近な世論に
理解を広げよう

滋賀支部



滋賀支部は、「憲法を守り、活かそう!10・25中央行動」に呼び、同組員の訴えに呼応して署名に応じてくれる方も増えています。

「がんばってね!」
相次ぐ激励に
確信を深めて

島根支部



増員・賃上げを求めて宣伝した松江部の仲間たち

共同を広げて
目を引くように
実態を訴えて

大阪地本

10月25日、難波高島屋前で「憲法25条を守り、活かそう!」福祉は権利!あたりまえに暮らし続ける社会を実現しよう!と、70人近くで宣伝をしました。目を引くように、横断幕やノボリを掲げ、トラ吉くんを着ぐるみやキラキラ宣伝隊も登場し、「福祉職員の増員署名に協力しよう!」などと訴え、700セットのチラシ入りティッシュもすべて配り、署名を集めました。



着ぐるみや横幕、ノボリなどでにぎやかに

加して松江駅のテルサ前で宣伝を実施。サラーマンや旅行者、学生などでにぎわった、足を止めてもらい、署名31筆が集まりました。一度通り過ぎた後に戻ってきた、「大事なことだね。国はこういことを大切にしたい」といふ声も聞かれました。がんばって!など声をかけてくれて、署名に応じてもらえたといい反響もありました。

生活できないと男性保育士が退職した。一般の平均より10万円も安い賃金を改善しないと、働き続けられる職場にならない!などと交代で訴えまわした。走り回ってつづける方でも、1時間で33筆が集まったほか、宣伝ビラ入りティッシュを300枚配布しました。

街頭で訴えて
事業所を訪問
施設見学も

えひめ
介護福祉ユニオン



手作りのかわいい幕でアピール度バツグン!

11月12日の昼休み、県労働と医療生協とともに、従事者の処遇改善等を求める請願署名の宣伝行動

動をおこないました。特に年配の方が快く応じてくれ、30分間で27筆の署名が集まりました。その後、全労連の介護労働実態調査のアンケートと福祉保育労の署名を持って、二つの介護事業所を訪問。最初に訪問した特養では、組合主催のノリフティングセミナーに参加し、今では愛媛でのモデル施設になりたという積極的なノリフティングに取り組まれています。施設内も見学でき、職員がゆったりと働き、利用者さんも穏やかに過ごされている印象を受けました。もう一つの事業所では「現場の声が必要ですね」とアンケートに協力的でした。現在50筆が集まっていますが、200筆を目標にがんばります。

福祉保育労 ニュースフラッシュ



一人ひとりがメッセージを掲げて

5地方組織から30人が
出席し確信を深める
中四国ブロック
第22回定期総会
11月11日 岡山市内



各地の組合員もいっしょに登壇

分断を生まない
処遇改善策をアピール
11月3日 日比谷野音
子どもたちによりよい
保育を!大集会

福祉保育労も参加する「よりよい保育を!実行委員会」の集会に、福祉保育労の組合員約750人を含む3000人が集まりました。東海地本・ぐみの木保育園分会の組合員が各地の仲間と登壇して、格差・分断を促す処遇改善加算ではなく、抜本的な改善につながる施策を求めて発言。赤ちゃんの急死を考える会の会員や、人材確保の困難さを訴える経営者など、切実な発言が続きました。同日の国会前大行動の実行委から小森陽一さん(東大教授、「九条の会」事務局長)の連帯あいさつもあけ、集会後はパレードをおこないました。

主 張 福祉のなかま 今月の

政府は11月26日、来年10月消費増税10%への増税に向けた対策の基本方針を発表した。増税後の12月間は消費の冷え込みを抑えるために、中小小売店・ク

消費増税も処遇改善策も外国人労働者の受け入れも
矛盾を広げる政策にNO! 抜本的な対策を求めよう

レジットカード決済をした客に5%のポイントを還元し、費用を国が負担することが目玉となっている。消費増税は所得の低い人ほど負担が重い逆進性がある。さらに、現金でしか買い物できない人や制度に対応できない小さな商店は、増税対策からも外れてしまう。また、その増税を財源にした保育・幼児教育の無償化案も、

給食を対象にしないことや保育士等の処遇改善の不十分さ、批判も高まっている。同じく増税分の一部を財源に、来年10月から動続10年以上の介護保険料が小さいために

から外れる人が生まれる。介護分野では来年度からの5年間で6万人を新たに受け入れると試算されている。賃金水準の低さと職員配置の少なさに抜本的な対策を打たずに、安易に受け入れるとは許されぬ。

福祉労働者の大幅な処遇改善は待たない。消費増税ではなく、所得税・法人税など応負担にせよ!への税制の見直しによる実現を求めていく。大幅な増員と賃金引き上げを求める署名を対話

- 1月
- 19日(土) 午後 第55回中央委員会(都内) ~20日(日) 午前
 - *春闘方針や統一要求を確立します
- 3月
- 14日(木) ストを含む全国いっせい行動
 - *すべての組合員が何らかの行動に参加しましょう!



とりくみのお知らせ

先生「福志先生」125 有給休暇が増えるんだって?の巻





渡邊 ちひろさん

北海道地本 ベツかい柏の実会分会執行委員長



Myメッセージ

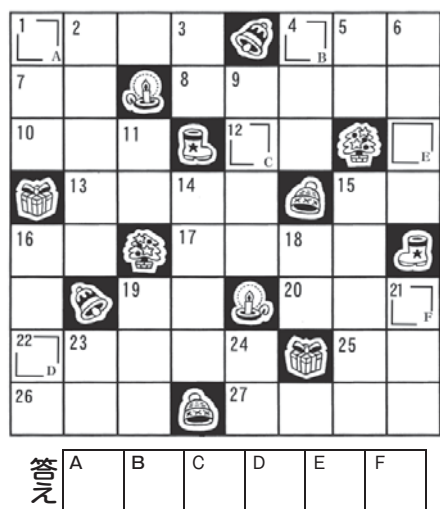
**不利益変更ストップが自信に
いっしょにがんばる仲間と組織に感謝!**

今年4月、障害者の支援施設やグループホームの職員の労働組合が法人の不透明な経営や不利益変更に対抗し、福祉保育労北海道地本に加入しました。利用者の権利を守り、民主的な職場をつくるためです。

23人で加入して活動を積み重ねるなかで、「誠実に答える気のない法人にはあきれますが、組合の力で不利益変更を阻止できたのは自信につながっています。」

「普段の仕事では「利用者さん」に良い活動ができるアイディアが浮かんだ時にやりがいを感じる」と言い、今後の組合活動の抱負についても「一人ひとりが興味をもってもらえるような活動をしていきたい」と模索中です。利用者さんからも厚く信頼され、頼りになる分会長です。

(取材：北海道地本・中川喜征副委員長)



クロスワードパズル
プレゼントつき

【解き方】二重ワクの文字を、A～Fの順に並べてできる言葉はなに？

■ヨコの力

- ① クリスマスイブは多忙
- ② 霜月、……、睦月
- ③ 7が合つ、尻……に乗る
- ④ 年末の大そうじで
- ⑤ マイホーム
- ⑥ 密度の低下に注意
- ⑦ 魔法使いが使つのは
- ⑧ 三冠……百獣の……
- ⑨ 盤上で白黒の石の多うで競つ

■タテの力

- ① 夏至……
- ② ご飯とコレがあれば、おかずは不要?
- ③ 「地位」のたとえ、社長……
- ④ 朝一番の……電車
- ⑤ おぼれる人がつかむのは
- ⑥ 金魚などを入れます
- ⑦ スコットランドのお酒
- ⑧ ……運、貧乏……
- ⑨ 雪の多い地方のこと
- ⑩ アシカに似ています
- ⑪ 来年のエトは
- ⑫ ……紹介……流
- ⑬ 鎌倉……、室町……、江
- ⑭ 戸……
- ⑮ アルバイトの略
- ⑯ ……せぬ出来事
- ⑰ フーツ、スニーカーなど、はきものの総称

応募方法

答えと「福祉のなかま」の気になった記事の感想、近況などを必ず添えて、ハガキかFAX、メールで送付ください(地方組織・分会、氏名、住所明記)。紙面やホームページ等に掲載させていただくことがありますので、ご了承ください。

締切▶1月15日
発表▶2019年2月号
賞品▶正解者の中から5人の方に図書カード(1000円)進呈
宛先▶「福祉のなかま」編集部



紙面を読んで

分会の結成報告に
私たちの活動を対比させて

滋賀支部・つくし保育園分会 山本 佳久子さん
9月号の「今月の主張」を読んで、組合のなかった職場で、声をあげ、分会を立ち上げるエネルギー、大変だったと思います。組合がある職場で、仲間を増やして活動を維持していく大変に直面している私たちを対比して読みました。

組合のない職場で働く友だちに
「組合があれば!」と伝えたい

東海地本・田代保育園分会 宮地 由美さん
組合がない職場で働く友だちは職員の声が大切にされないことが「あたりまえ」になっているなあと感じます。「組合があれば!」というメッセージを伝えていきたいです。



「福祉の風」を力に労使の対等な関係を

大阪地本・さつき福祉会分会 肥後 慎一さん
気になった記事は「福祉の風」で、経営者側からの「いっしょに考えよう」という言葉です。私たちの分会も毎年団体交渉をおこなっていますが、上記の言葉はよく聞く回答です。組合側からの継続した要求に対し、例年同じ回答で平行線になることがあります。対等な関係をつくるために、振り返ってみる機会を大切にしていきたいと思いました。

おいっ子に「福祉の現場に!」と
言えるように

北海道地本・かりぶあつべつ分会 田淵 孝行さん
高校生のおいっ子が進路で悩んでいて、将来なりたいものを考えている姿を見て、「福祉の現場においで!」と言えない自分がいました。やりがいもあって誇りも持っているけれど、賃金や労働環境を考えると、つらい思いはさせたくないと思ってしまふ。子どもたちに胸をはって、福祉の道をすすめられる環境をつくりたい。あらためてそう思いました。

12月は「ワンコイン共済」加入推進月間です!

◆風疹が流行しています!

首都圏を中心に風疹の流行が続いています。咳や唾液などの飛(ひ)まつから感染し、大人がかかると発熱や発疹が長引き、関節痛がひどくなることが多いと言われていています。場合によっては一週間以上仕事を休まなければならない、私たち労働者にとって深刻な病気と言えます。

さらに、妊娠している女性がかかると、胎児にも感染し、難聴や心疾患、白内障、身体や精神に障害をもった赤ちゃんが生まれる可能性があります。



◆予防接種、抗体検査で予防を!

いざという時は「ワンコイン共済」!

風疹の予防には予防接種を受けることを推奨しています。特に30～50代の男性は、抗体の保有率が低いとされており、接種するようによびかけられています。また、予防接種の前に、抗体検査を受けることもできます。この検査で十分高い抗体があると確認されると、接種の必要はなくなりませんが、すでに免疫のある人が再度接種を受けても、副反応がおこるなどの問題もありません。また厚生労働省は、来年度から30～50代の男性を中心に、抗体検査の費用を無料にする方針も出しています。

このような感染を防ぐために、妊婦や周囲の人が注意するだけでなく、職場に対策を要求したり、私たちみんなが風疹をなくそうとしたりするとりくみが大事です。万が一感染してしまった場合でも、組合員なら誰でも加入できる「ワンコイン共済」に加入しておけば、5日以上の休業から「休業給付」の対象になります。いざという時に備えておきましょう!



あったか

共済
コーナー

年末調整

掛金の税金控除について

●ワンコイン共済・生命共済・医療共済
火災共済・交通災害共済

→労働組合の自主共済のため
控除対象になりません

●年金共済・がん保険

→控除対象になります

※年金共済の保険料控除証明の書類は、毎年10月頃に幹事会社の「大同生命株式会社」の差出人名で、加入者のご自宅に送付されています。